

事務事業名	商店会街路灯設置及び維持管理料支援事業				担当	産業部 商工観光課 商業係	
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	商業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市街路灯設置補助金交付要綱、真岡市街路灯維持管理料補助金交付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和49 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費	2. 商工振興費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	<p>【街路灯設置補助】商店会または管理組合が、共同で街路灯を設置する場合（一地域20灯以上を連たして設置）、市が、前年度までに街路灯設置の希望を取りまとめ予算化し、街路灯設置補助金交付要綱に基づいて助成している。</p> <p>・補助額：総事業費の30%以内で1基あたりの限度額12万円（平成18年度に要綱改正）</p> <p>【街路灯維持管理料補助】平成13年度から、商店会又は管理組合が管理している街路灯の年間電気料と電球などの消耗品を含めた維持管理費の一部を助成している。</p> <p>補助率：年間電気料、消耗品等の1/2以内で千円未満は切り捨て</p> <p>また、平成26年4月から街路灯維持管理費の経費削減と地球温暖化対策として、既設の街路灯をLED電球へ改修する際の費用を助成している。</p> <p>補助率：改修費用の1/2以内で1基あたり5万円を限度とする。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
30年度実績 街路灯設置の実績なし		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
維持管理料補助金交付事務(申請 交付決定 事業実施 実績報告 補助金支出) 対象組合数... 12組合 補助金額(電気料等)..... 946千円 補助金額(LED化改修).....実績なし		ア 補助金額(設置料)	円	0	0	0	0	0
31年度計画 前年度と同様 現在消灯中の真岡散歩路の再組織化への働きかけ		イ 補助金額(電気料等)	千円	1,540	1,149	1,064	946	1,265
		ウ 補助金額(LED化改修)	千円	1,866	0	1,100	0	0
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 街路灯を設置している商店会又は管理組合		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：街路灯を設置している商店会又は管理組合数	団体	13	13	13	12	12
		イ：街路灯新規設置数	基	0	0	0	0	0
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 街路灯の設置料や維持管理料（電気料等）を補助して、商店会等維持管理者の負担を軽減する。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：街路灯設置数	基	490	490	482	407	407
		イ：街路灯のLED化改修	基	65	0	22	0	0
		ウ：LED化された街路灯数	基	344	344	366	373	373
		エ：維持管理料補助を受けた商店会又は管理組合数	団体	13	13	13	12	12
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 明るく魅力ある商店街を形成することにより、商工業の振興を図る。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：商品販売額(卸売業・小売業) 28商業統計	億円	-	1,198	-	-	-
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	3,406	1,149	1,064	946	
	事業費計(A)	千円	3,406	1,149	1,064	946		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	24	24	24	24	
		人件費計(B)	千円	101	100	100	100	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,507	1,249	1,164	1,046		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市内商業者が連帯意識を持ち、明るく魅力ある商店街の形成を図るとともに、商業の近代化を促進するため、昭和49年から設置料補助を開始した。また街路灯維持管理費の一部である電気料についても支援要望があり、平成13年度から補助を開始し、26年からはLED電球への改修補助も開始した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	市長との話し合い事業において、街路灯電気料の補助率増額と電球等の消耗品費を補助対象とする支援要望があったので、平成20年度から交付要綱の一部改正し、内容の充実を図った。 (平成19年度までは、年間電気料のみ1/4補助) 平成23年度から真岡散歩路の田町地区街路灯管理組合が対象となった。 街路灯の維持管理が困難なことから、一部の地区は消灯したままの状態となっているので、30年度に再組織化を働きかける。 つばき通り明るい街並み振興組合については、30年度に組織を解散し、街路灯はすべて撤去した。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	会員商店数の減少や街路灯本体の老朽化が進んでおり、管理組合から修繕費の助成や補助率の引き上げなどの要望が出ている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 明るく魅力ある商店会の形成を促進しているので、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 商店会が活性化し、商業振興が図られることは市の重点目標なので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 街路灯設置費や維持管理費の一部(電気料、消耗品費)を軽減することは、景観の保持や防犯にもつなげるので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 商店会等からの要請により補助しているので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 明るい商店街形成に影響を及ぼす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助率は適正である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務等で市の人件費は最小限であり、削減は困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 街路灯の設置については3割を補助、街路灯の電気料と消耗品費については1/2を補助しており、残りは各商店会等で負担しているので適正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							